## DOCTOR-1SE



医学生がこれからの医療を考えるための情報誌[ドクタラーゼ]





病気の解明や治療につながる研究を 徳島大学 大学院医歯薬学研究部 生化学 教授 佐々木 卓也

を助けるという使命も担っています。徳島大学医学部は一地方大学ですが 四国で最古参の医学部であり、昔から現在に至るまで医学研究を重視する 「風を持っています。医学研究における基礎研究の重要性を早くから唱え、 長学部附属酵素学研究施設を設立。酵素研の名は、そこから発表された 対々の業績によって全国に知られています。その後も、時代の推移とともに ジム機能研究センターや藤井節郎記念医科学センターが設立され、活発 研究活動が日々行なわれています。また、医学部では、学生は学内から 世界に向けて発信される最先端の研究成果を講義によっていち早く学ぶこかでき、医学研究の重要性を実感することができます。そのためか、医学 3の途中で大学院に進学し、医師免許を取得する前に本格的な医学研究 学び、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く では、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く でい、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く では、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く では、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く では、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く では、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く では、博士号を取得するMD-PhDコースへの進学者数も日本で一番多く できまする前に本格的な医学研究といる前にあります。これらの研究を とって研究を進めることができる環境にあります。さらに、ここでの研究 支える研究支援システムも日本有数で、最先端の研究機器が整備されて り、特に、最近では、イメージング研究に力を入れています。このように 、たちの大学では、医学研究に取り組む環境が整っていますので、病気の 気風を持っています。医学研究における基礎研究の重要性を早くから唱え ちの大学では、医学研究に取り組む環境が整っていますので、病気の まり、育ってくれることを期待しています。

## きみの未来へ Doctor plus One! 徳島大学 大学院医歯薬学研究部 医療教育学 教授 赤池 雅史



本学は四国唯一の医育機関として1943年に設立され、72年間の歴史 で5,000名以上の医師を輩出してきました。特に「医師になるのは原点。 未来の自分へ、原点からもう一歩、前へ進もう!」をモットーに、「Doctor plus One!」プログラムを推進しています。例えば、研究力の育成では、 希望する学生が1年次から自主的に実験を行うことができる「Student Lab を設け、3年次では全員が希望する研究室に配属され、1年間に わたり正課として本格的な医学研究に取り組みます。さらに、リサーチ マインドを有する医師 (Physician scientist) を目指して、4年次修了後 に大学院へ進学して医学博士を取得し、5年次に復学して医師免許を取 得するコース (MD-PhDコース) も設けています。本学のコースは米国 同様の本格的なものであり、毎年進学者が出ています。臨床力の育成で は、各種シミュレータを有するスキルス・ラボを設置し、その利用者は年 間のべ約13,000人にも達しています。さらに5年次からの臨床実習では、 全国に先駆けて日本各地で学外実習を行っています。また、わが国の国 立大学医学部では唯一の医科栄養学科を有し、他に保健学科、歯学部、 薬学部、大学病院が同じキャンパスに集約しており、チーム医療教育も 充実しています。グローバル力の育成としては、英語でのコミュニケーショ ンスペースである「English plus」やUSMLE勉強会を実施しており、学 術交流協定締結校であるテキサス大学 (米国)・ハノーバー医科大学 (ド イツ)・ソウル国立大学(韓国)・モンゴル健康科学大学(モンゴル)へ の短期留学プログラムも設けています。これらによって、将来を見据えて 様々な分野で国際的に活躍できる医師の育成を目指しています。

## 総合大学の利点を生かし、臨床・研究双方で通用する医師になる 徳島大学 医学部 5年 西晃

徳島大学の特徴の一つが、幅広い学部の人とつながりを持てるこ とです。まず、医学部がある蔵本キャンパスには、医歯薬の学部 の他、看護、栄養などの全ての医療系学部が集中しています。そ のため、他学部の人と講義が同じだったり、2年生に上がる前の 時期に、チーム医療トレーニングとして、他学部の人たちとチーム を組んで一つの問題について考え、ポスター発表をする取り組みが あったりします。僕の場合、4年生で学祭の実行委員をしたときに、 歯学部や薬学部の人と輪が広がって、お互いの仕事について理解 できたことが大きかったなと思います。

また、医療系以外の学部がある全学キャンパスにも自転車だと15 分くらいで行ける立地で、医療系を超えたつながりが作りやすいで す。僕が所属しているオーケストラには、総合科学部で方言の研究

をしている後輩や、心理学の研究をしている友達がいて、彼らとの やり取りの中でいろいろな世界を知れたことはすごく良かったです。 徳島大学のもう一つの特徴が、早い学年から大学院での研究がで きるMD-PhDコースです。僕はこれを利用して、5年生に上がる前 に大学院に入り、3年間精神科の教室に所属して博士号をとった 後、この4月から5年生で学部に復帰しました。博士課程は通常仕 事や家庭を持つような年齢になってから4年間で修了するためハー ドルの高さもありますが、若いうちに3年間で短縮卒業できること がこのコースの魅力です。臨床も研究もどちらもできるような医者 になりたいと思うならおすすめですよ。

学部を超えたつながりで見識を広め、活躍できる医師になるための 環境が徳島大学には揃っていると感じます。



〒770-8501 徳島市新蔵町2-24 088-656-7000

